

令和4年 第844回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和4年6月17日(金)		開会 15:30 閉会 16:25		
開催場所	市庁舎4階大会議室西側				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	村上委員	桂田委員
欠席委員					
事務局	教育部長	教育総務課長	生涯学習 スポーツ課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	大山GL	和久田GL	安田企画主査	
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p><b>委員会開会</b></p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の新型コロナウイルス感染症の状況                  中学校では、5月中に修学旅行を感染症の影響を受けることなく、無事に終了することができた。6月に入り、校内の体育大会を実施した学校もあるが、予定通り実施できた。</li> <li>・学校部活動の地域への移行について                  5月31日にスポーツ庁長官へ提言が出され、今後、これからのスポーツのあり方について具体的な取組みが正式に示されることになる。本市においても、生涯学習スポーツ課と教育総務課の連携のもとで取組みを進めているところである。</li> </ul> <p><b>1 会議録の承認について</b></p> <p>第843回教育委員会定例会会議録〈承認〉</p>					

## 会議録署名人2名の選任

第844回教育委員会定例会会議録署名委員選任《上田委員、桂田委員》

## 2 報 告

- ・報告第7号 諸般の報告 令和4年5月23日～令和4年6月16日  
行事予定 令和4年6月17日～令和4年7月31日《承認》

教育長 7月16日（土）の小浜市学童野球大会の開催時間は。

事務局 午前8時30分から開催する。

教育長 同時間に別の公務に出席しなければならないため、代理として他の委員の皆さん  
に開会あいさつと始球式をお願いしたい。

事務局 調整する。

## 3 議 案

- ・議案第13号 小浜市スポーツ推進委員の委嘱について《承認》

山崎職務代理者 資料の中で、特技・資格等の欄に記載のない委員は、どのような方なのか。

事務局 特技・資格等の欄に記載のある委員は、競技種目団体等に所属されている方で、記  
載のない委員は、特に特定の競技種目に特化した活動をされていない方である。

山崎職務代理者 スポーツ推進委員の活動に問題はないのか。

事務局 ない。

教育長 スポーツ推進委員は、今後の学校部活動の地域移行を進めていく上で、中学校での  
指導などに携わることや検討委員会のメンバーに加わっていただくことなどの考え

方はあるのか。

事務局 小浜市スポーツ推進委員会は、設置目的が規則で定められており、スポーツ推進委員は、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、およびその職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者となっている。小浜市スポーツ推進委員会が行う事業としては、市および市教育委員会ならびに公民館の行う体育事業に協力すること、社会教育関係団体、職場等が行う体育活動に協力し、運営指導にあたること、スポーツ推進委員の講習会を行うこと、その他目的達成に必要な事業を行うこととなっている。スポーツ推進委員を学校部活動の地域移行の検討委員会のメンバーにすることは考えていないが、側面から協力していただけないかと思っている。

教育長 今後、このような視点からも検討いただきたいと思う。学校部活動の地域移行に向けて前進させていくために、大きな戦力になっていくのではと思う。

事務局 しっかりと検討して考えていく。

上田委員 昨年度のスポーツ推進委員の活動状況は。

事務局 スポーツ推進委員の活動は、過去2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動の場がほとんどなかった。通常であれば、市民体育祭や若狭マラソン大会で主となって活動していただいている。

#### 4 教育長報告

##### ・教員の働き方改革について

教員採用試験への志願者が年々減ってきている。福井県の教員採用試験における倍率は、10年前では10倍を超えていたが、昨年度では3倍程度となっている。要因は様々あるが、大きな理由として、教師という職への魅力はあるが、労働環境が悪いということを知り、学

校が抱えている働き方の問題が大きく影響していると考えます。教育実習を終えて教員を志望しない学生が少なからずいるということも聞いています。先日、若狭高校の1年生の探求学習として、地域の方々から学ぼうという学習活動があり、教育関係のテーマとして、学校部活動の地域移行を取り上げて話をしてきました。これまで毎年この学習活動には講師として参加しており、本市の教育に関する課題について話をしてきましたが、このテーマに参加した生徒のうち、教員を志望する生徒は数人程度であった。このような状況が今後続いていくと、教員の質の確保に大きな影響が出てくるのではないかと危惧している。今年度から、福井大学で嶺南地域枠が開設され、嶺南で教員を志す学生が10名入学している。この10名に加えて嶺南地域枠以外で教育学部に入学した学生を合わせて20名の学生が嶺南地域教育プログラムに取り組んでいくことになる。この取り組みが教員採用試験の志願者数にも好ましい影響として波及していくことを願っているが、そのためにも教員の働き方改革を実効あるものとして進めていかなければならない。学校では、これまでから業務改善に向けて検討を進め、令和元年度から令和3年度までの3年間で、月あたり80時間以上の時間外業務を行っている教員を0にしようという目標を掲げて取り組んできた。国では企業等に対して、月あたり45時間以上の時間外業務をしないように呼び掛けており、各企業も企業の存続に関わる問題として積極的に取り組んでいる。このような中で、学校における働き方改革の一つとして、学校部活動の地域移行を検討している。学校部活動の地域移行は、少子化により、部活動が今のままの形では存続が困難になってきていることと、中学校の休日も含めた部活動指導にかかる時間外勤務が働き方改革を進める上で大きな課題になっていることから取り組むものである。休日における学校部活動の地域への移行については、令和5年度から3年間で段階的に取り組み、令和7年度で完了することをめざしている。将来的には平日も含めて地域へ移行する方向性も示されている。どのような改革であっても、学校は子どもたちのためにあり、教員の働き方改革は、子どもにとってプラスになる改革であるということを念頭に置かなければならない。

山崎職務代理者 嶺南市町でも同じような状況なのか。

教育長 市町によって様々な検討が進められているが、高浜町では、今年度から平日2日間と休日1日間を中学校の部活動をしない日としている。また、小学校も含めて平日の2日間を5限目までとしてその日の授業を終業し、勤務時間内に業務が終えられるように工夫している。年間の授業時数は決められており、市町によっては、2学期制の導入や始業時間の調整などによりその時数確保を工夫している。高浜町では、夏休みを短縮して取り組んでいる。大野市では、高浜町と同様、平日2日間と休日1日間を中学校の部活動をしない日としているが、教員の働き方改革と併せて、不登校対策としても取り組んでいる。子どもたちの心の疲れが現れやすい木曜日を部活動をしない日としたところ、保健室を利用する子どもの数が大きく減ったという報告を受けている。このようなことを踏まえ、本市の生徒や保護者、教員の実態をアンケート等により把握した上で、2学期以降の取組みを進めていこうと考えている。

村上委員 小学校の先生方の状況はどうか。

事務局 小学校の教員の超過時間勤務も多くなっている。昨年度は、中学校では感染症対策として、部活動を停止した期間があり、その影響で中学校の教員の超過勤務時間が激減していたが、小学校では、月あたり80時間以上の超過勤務時間をする教員はいなかったが、中学校よりも小学校の方が超過勤務時間が多くなっていた。子どもたちが下校する時刻が午後4時で、全員が下校すると午後4時20分くらいになるが、小学校の教員の勤務時間は午後4時40分までであるため、各教科の教材研究などを始めると勤務時間を超過して取り組むことになってしまう現状にある。

教育長 中学校では、専門教科が1教科であり、小学校でも教科担任制によって超過勤務時間を減らしていこうという取り組みがある。

村上委員 小学校での教科担任制は実現できそうなのか。

事務局 教科担任制にかかる予算は国から配分されているが、市全体で1人の配分となっていることから、各学校では時間単位で導入するよう取り組んでいる。

教育長 予算の問題もあるが、人材の確保も困難な状況である。現状では、産体育休等代替教員の確保も大変である。各小学校では、学校の中で、中学校教員の免許をもった専門教科の教員が、学年をまたがって教科を担当するなどの創意工夫により教科担任制に近い取り組みを行っている。このことにより少しでも教員の負担軽減につながっている。

## 5 その他

- ・「小浜市はたちのつどい2023」開催案内および実行委員の募集について

## 委員会閉会

(教育長) 宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 上田俊彦 教育委員

委員 桂田理津子 教育委員